

## 手足口病

手足口病は夏季に流行する小児の代表的なウイルス感染症です。エンテロウイルスのうちコクサッキーウイルス A (CV-A) 群、エンテロウイルス A (EV-A) 71 などが主な原因ウイルスとなります。埼玉県感染症発生動向調査による県内定点医療機関からの報告数は、2022 年第 30 週 (7 月 25 日～7 月 31 日) において 1 定点当たり 6.04 人となり、2019 年以来 3 年ぶりに警報レベル開始基準値 (5.00) を超えました (図 1)。

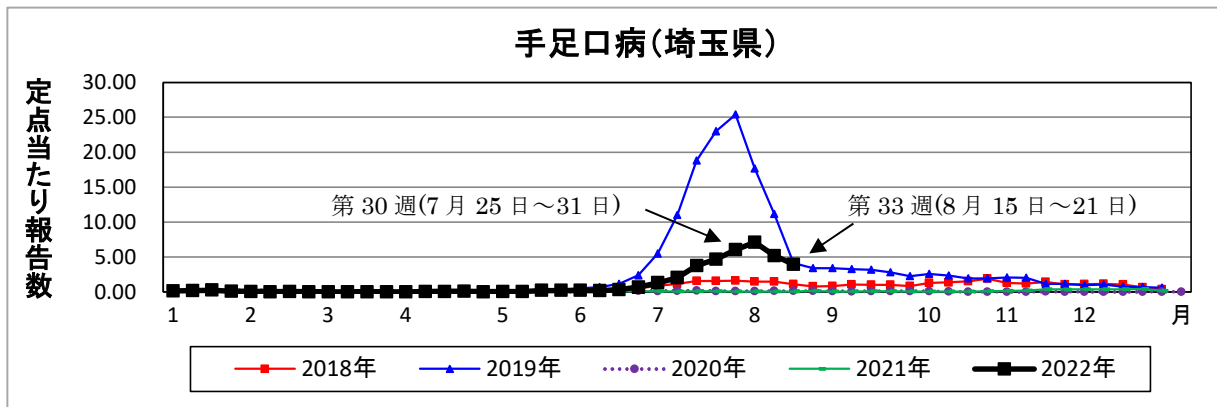


図 1 手足口病流行状況 (埼玉県)

### 手足口病からのウイルス検出状況 ～ 今夏の流行は "CV-A6" ～

2022 年 1 月から 7 月の間に病原体定点で採取され、埼玉県衛生研究所に搬入された患者検体は 22 検体で、このうち 20 検体が 6 月以降の採取でした。14 検体から CV-A6 が検出されており (表 1)、今夏の手足口病流行の主たるウイルスは CV-A6 と考えられます。CV-A6 が検出された検体の患者年齢は、すべて 1～3 歳でした。

過去 4 年を振り返ると、2018 年は CV-A16 と EV-A71 が、2019 年は CV-A6 と CV-A16 が多く検出されています (表 2)。2020 年及び 2021 年は感染症発生動向調査からは手足口病の流行が見られず、また搬入検体・検出ウイルスともに少なかったため、ウイルスの傾向は読み取れませんでした。

表 1 手足口病からのウイルス検出状況 (2022 年 1 月～7 月)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計
2022	検体数	1		1		9	11	22
	CV- A6					6	8	14
	CV- A16			1				1
	検査中						3	3

表2 手足口病からのウイルス検出状況（2018年～2021年）

年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2018	検体数				1	4	11	11	13	9	9	5	4	67
	CV- A6											1		1
	CV- A9								2	1	2			5
	CV- A16					1	3	4	2	3	4	3	3	23
	EV- A71				1	2	6	3	6	3	1			22
2019	検体数	1	2	1	3		8	14	7	8	3	4	3	54
	CV- A6						5	9	5	2				21
	CV- A10									1				1
	CV- A16			1				4		1	3	4	3	16
2020	検体数				1		1	2	1		1	2	1	9
	CV- A6												1	1
2021	検体数					3	5	4	1		2	1	2	18
	CV- A4								1					1
	CV- A6											1	1	2

病原体定点医療機関の先生方には、流行ウイルスの把握のため、引き続き検体採取にご協力をお願いいたします。